別紙

**2021年度　おおさかグローバル塾　委託事業内容**

**委託事業の内容**

事業の実施にあたっては新型コロナウイルス等感染症の対策を講じた上で行うこと。また、新型コロナウイルス等による影響を考慮した上で、事業目的を達成できる効果的なプログラムとなるよう工夫すること。

１　受講生選考

２　個人負担金の徴収

３　プログラムの実施

４　効果検証・評価

５　2020年度修了生の受講について

**１　受講生選考**

**選考スケジュール等（予定）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日程(令和3年) | 選考過程 | 実施主体 |
| ２月18日（木） | 受講生募集開始 | 大阪府 |
| ３月25日（木）～4月15日（木） | 出願書類の受付 |
|  | 1次選考 |
| ４月19日（月） | 1次選考結果通知 |
|  | 出願書類の引継ぎ | 大阪府→受託者 |
| 4月25日（日） | 2次選考 | 受託者 |
| 4月27日（火） | 2次選考結果通知 |

※受講生募集（（参考１）「2021年度おおさかグローバル塾受講生募集要項概要」を参照）から

１次選考結果通知まで大阪府が実施する。

※１次選考は、大阪府が出願書類により出願資格を満たしているかの要件を審査する。

1. ***出願書類の引継ぎ***

大阪府は、出願者へ１次選考結果を通知後に、出願者の同意を得た上で、受託者へ出願書類の引継ぎを行う。受託者は、引継ぎを受けた出願書類を確認すること。

1. **２次選考の実施**

受託者は、以下の要件を踏まえて2次選考を実施し、合格者（定員50名）を選出すること。

【２次選考の要件】

・ ２次選考会場を確保すること。

・　筆記試験等（英語）、面接（日本語及び英語）、グループワークを実施すること。

・ 公平性を確保するとともに、（参考１）「2021年度おおさかグローバル塾受講生募集要項概要」を参照し、出願書類で確認する内容（志望理由、海外進学計画や将来像、大阪への貢献など）や、求める人物像を踏まえて選考を行うこと。

・　選考要領を作成し、事前に大阪府と協議し承認を得ること。

※なお、客観性を担保するため、大阪府も選考に参画する。

1. **結果通知**

受託者は、別途指示する様式で大阪府に選考結果について情報提供を行い、大阪府の承認を得た上で出願者に結果を通知すること。また、受託者の定める期日（結果通知日から３日以内を目安とする）までに合格者から受講承諾を得ること。

1. **結果開示**

受託者は、出願者本人から、選考結果の開示要求がされた場合、対応すること。なお、開示する内容等は別途定める。

**２　個人負担金の徴収**

受託者は、委託金額に加え、受講生全員から個人負担金（受講生１名につき190,000円）を徴収し、短期留学費に充てること。ただし、当該個人負担金には、本事業の短期留学に必要となるパスポート・ビザ取得費用、渡航に必要となる検査料、海外旅行保険料、自由行動やフィールドワーク時の昼食代等の費用等は含まないため、別途受講生の自己負担とすること。

個人負担金は、おおさかグローバル塾の受講を決定した後１か月以内に徴収することとし、原則納付後の返還には応じないものとすること。

**３　プログラムの実施**

**実施スケジュール等（予定）**

|  |  |
| --- | --- |
| 日程（令和３年） | 実施内容等 |
| 5月９日（日） | 入塾式 |
| 5月 | Aptis団体受験実施 |
| 5月～7月 | 海外進学準備講座 |
| 7月25日（日） | 前期成果発表会 |
| 8月３日(火)～8月12日(木) | 英国リーズ大学にて短期留学（大阪発着日を含め10日間） |
| 8月後半 | 短期留学報告会 |
| 8月後半～9月前半 | Aptis団体受験実施 |
| 9月～翌年２月 | 海外大学受験講座 |
| 12月後半～翌年1月 | IELTS団体受験実施 |
| 翌年２月13日（日） | 成果発表会及び修了証書授与式 |

**※**海外進学相談は随時実施

1. **クラス、講座の運営・管理**
2. **クラス編成について**

・　クラス編成については、原則1クラス12、13名程度、4クラス（午前・午後それぞれ2クラス）とする。

・　受講生の英語力や希望時間等に配慮し、効果的なクラス編成を行うこと。

1. **講座の実施について**

（ア）講座会場

・　講座会場は、受講生が通いやすく利便性、安全性が高い会場を確保すること。

（イ）講座時間

・　講座時間は、原則として年間60時間以上とする。なお、海外進学準備講座、海外大学受験講座それぞれ30時間以上を目安とする。

原則　１日３時間（休憩時間を含まない）

［講座時間の例］

午前 ９:15～12:30（途中休憩15分）２クラス

午後 １:30～４:45（途中休憩15分）２クラス

（午前・午後クラスで交流を図ることができるよう工夫すること）

・ ネイティブ講師による講座時間の割合については、全体の講座時間数の２／３以上確保すること。

（ウ）留意事項

・　新型コロナウイルス等感染症対策（会場の３密対策、受講生等のマスク着用、検温、手指の消毒等）を徹底すること。

・　受託者の管理下にある間、自宅とおおさかグローバル塾との往復途上にある間、受講生に生じる可能性のある急激かつ偶然な外来の事故にも備え、傷害保険に加入するなど安全を確保できる体制をとること。

・　携帯通信端末機のアプリケーション等を活用し、受講生、受託者、大阪府の間で、情報共有や緊急時の連絡が取れるような体制をとること。

1. **受講生の管理**

（ア）健康状態申告書の提出

以下の時点において、受講生全員から健康状態申告書（別途様式）の提出を受け、健康状態に問題がないか確認し、確認内容を大阪府に報告すること。

・　入塾後、海外進学準備講座の開始前

・　短期留学出発前

（イ）講座等の出欠管理

以下の【受講生の欠席等の取扱い】に留意するとともに、受講生の講座の出席管理を徹底し、定期的に出欠状況等を大阪府に報告の上、必要に応じて府と協議し対策をとること。なお、新型コロナウイルス感染症等の影響による受講生の欠席等に備え、必要に応じて在学する高校等に状況の把握や連絡が取れるような体制を整えること。

【受講生の欠席等の取扱い】

・　海外進学準備講座を３日以上欠席した場合、原則短期留学に参加させない。（※）

・　短期留学への不参加またはAptis及びIELTSの未受検、全体のプログラムを通じ４日以上欠席となった場合、原則修了証書を授与しない。（※）

（※）重要な学校行事（学校又は学年における全ての生徒が一堂に会する行事で、他の日程での代替参加ができないもの（入学式、卒業式、修学旅行、文化祭のほか、大阪府が認めるもの））や忌引等で書面による申出があり大阪府が認めた場合、台風や交通機関のストライキ等による講座休講の場合を除く。なお、大阪府の認めた補講を受けた場合、欠席日には含めない。

（ウ）受講生に問題等が発生した場合の対応

受講生に、プログラムへの参加等に影響を与える可能性のある事象（体調不良による在学する高校等の長期欠席等）、問題（在学する高校等における出席停止や懲戒処分等）等が発生した場合、大阪府に速やかに報告し、対応を協議すること。

なお、当該の事象、問題等が発生した場合は、次のような措置をとる場合がある。

・　在学する高校等において、出席停止などの懲戒処分を受けた受講生については、大阪府がその内容、事実を学校長に確認の上、プログラムに参加させないこととする。

・　講座において、頻繁に宿題を忘れる、故意にグループワークに協力しない、その他講座の進行を妨げる行為などに対し、再三の注意をしても改善が見込めず、その後の継続が困難と認められる受講生については、受託者の相談に基づく大阪府の判断でプログラムに参加させないこととする。

1. **講座の内容等について**
2. **海外進学準備講座　５～７月**（原則毎週日曜日、1日3時間。合計30時間以上を目安とする。）

・　講座は原則として英語で行い、受講生間の会話・対話も英語を基本とすること。（講座内容により日本語による説明が必要な場合は、その限りではない。）

・　IELTSのスコアアップトレーニングを行い、海外進学に必要となるスコアの取得をめざすこと。

・　英語で大阪をはじめ日本やアジア、世界の歴史・文化・時事問題を学ぶとともに、それらをテーマとしたプレゼンテーションを作成し、ディスカッション、プレゼンテーション能力などを磨くこと。

・　世界の人々としっかりとコミュニケーションできる力を育てるとともに、大学での学習法、講義への臨み方、現地ルールやトラブルへの対処法を学ぶなど、自信を持って海外生活を送る力を育てる内容とすること。

・　海外での礼儀やマナーについて学ぶこと。

・　前期成果発表会及び短期留学先において発表する「大阪の魅力」をテーマとしたプレゼンテーション等を作成すること（英語で発表）。

1. **海外大学受験講座　9月～翌年２月**（原則隔週日曜日、1日3時間。合計30時間以上を目安とする。）

・　講座は原則として英語で行い、受講生間の会話・対話も英語を基本とすること。（講座内容により日本語による説明が必要な場合は、その限りではない。）

・　海外進学に備え、ディスカッションやディベート、コミュニケーション力を高める講座を行うこと。

・　IELTS受検に向け、効果的な講座を実施するとともに、必要に応じ補講を実施すること。

・　成果発表会において、受講生が本プログラムを通して学んだことを活かし、自身の将来や、大阪への貢献について、プレゼンテーション等を作成すること（英語で発表）。

1. **英語力の測定等**

（ア）Aptis（※１）の受検

受託者にてAptis（４技能パッケージ）を購入の上、次の時点に会場を用意して受講生全員に団体受験させ、個々の英語力を把握・分析し、成績及び分析結果を大阪府に報告すること。なお、受検は通常の講座時間外に実施すること。（受検時に必要となるマイク付きヘッドフォンは、大阪府から受講生に貸与する。）

・ 5月　海外進学準備講座の開始前

・ 8月後半～９月前半　短期留学後から海外大学受験講座の開始前

（イ）IELTS（※２）の受検

12月後半～翌年１月を目途にIELTSを受講生全員に団体受験させ、個々の英語力を把握・分析し、成績及び分析結果を大阪府に報告すること。なお、受検は通常の講座時間外に実施すること。

（※１）Aptis・・・ ブリティッシュ・カウンシルが提供する文法、語彙及び４つのスキル（スピーキング、ライティング、リーディング及びリスニング）を測る英語検定試験

（※２）IELTS・・・公益財団法人日本英語検定協会が運営する（スピーキング、ライティング、リーディング及びリスニング）を測る英語能力証明試験

1. **海外進学に向けての進路指導等**

（ア）海外進学に向けての進路指導等

プログラムの適切な時期に次のような対策を講じること。また、受講生の進路指導等にあたっては、受講生の海外進学に対する目的意識を高めるとともに、海外進学後の将来のキャリア形成の観点も踏まえ行うこと。

・　出願校の選び方について指導を行う場を設けること。

・　出願校について、特定の国や大学等への誘導はせず、受講生個々の希望やスキルに合わせた適切なアドバイスを行うこと。

・　最終学歴の成績評価（GPA換算）の重要性の説明や、出願のためのエッセイの作成指導をきめ細かく実施すること。

・　必要に応じ、SAT（大学進学適性試験）などのアドバイスを実施すること。

・　入学願書、推薦書、身上書・志望動機説明書（出願エッセイ）作成、奨学金獲得、ビザ取得、入学手続き、渡航準備等について、指導・助言を行うこと。

（イ）海外進学相談

・　受講生の海外進学に関する悩みや相談に、個別に対応すること。

・　受講生が在学する高校等を訪問するなどにより、受講生の進路指導の状況を把握すること。

1. **短期留学　８月３日（火）から８月12日（木）まで（予定）**
2. **短期留学の基本事項について**

大阪府は、英国リーズ大学との間で本事業の短期留学プログラムの提供に関する連携協定を締結しており、2021年度のおおさかグローバル塾の短期留学について、以下のとおり予定している。ただし、新型コロナウイルス等感染症による影響により、短期留学の実施及び渡航について変更する場合がある。

日　程：令和３年8月3日（火）～12日（木）（予定）

(リーズ大学滞在は、8月4日（水）～11日（水）)

留学先：リーズ大学

滞在先：リーズ大学学生寮（食事付き）

参加者：受講生50名、引率者5名（大阪府職員2名、受託者3名を予定）

リーズ大学での短期留学中の活動内容、受入体制及び概算費用などの概要については、リーズ

大学作成の『Osaka Global Summer School August 2020-PROPOSED Programme Of Activities』（以下、「OGSS提案書」とする。）を参考にすること。

「OGSS提案書」については、大阪府から以下のとおり配付する。

配付期間：令和３年２月18日（木）～３月10日（水）（土曜日、日曜日及び祝日を除く）

午前10時から午後5時まで。ただし、正午から午後1時を除く。

配付場所：大阪府府民文化部都市魅力創造局国際課国際化推進グループ

所在地）大阪市住之江区南港北1－14－16

大阪府咲洲庁舎（さきしまコスモタワー）37階

※配付を希望する場合は、必ず事前に以下の国際課担当まで電子メールにて連絡すること。

・送付先：osakaglobal@gbox.pref.osaka.lg.jp

・件名は「【参加者名】【配付希望日】OGSS提案書の配付希望」とすること。

（例:【〇〇株式会社】【２月25日(木)】OGSS提案書の配付希望）

※郵送による配付は行わない。

※配付時に質問は一切受け付けない。

・　受託者は、大阪府と契約締結後、大阪府及びリーズ大学と短期留学プログラムの具体的な内容を調整の上、決定すること。

・　本プログラムに必要な費用については、受託者がリーズ大学に支払うこと。

* 1. **渡航・滞在について**

・　受託者は短期留学出発前までに、移動導線や緊急時の現地連絡先等の確認、リーズ大学でのプログラム等の詳細を現地担当者と決定するための下見を行うこと。

・　短期留学に参加する者（受講生、大阪府担当者を含む引率者）に係る必要な渡航・交通手段等については、受託者において全て確保すること。また、受託者において費用を負担すること。ただし、大阪府担当者に係る費用については、短期留学終了後、受託者から請求があり次第、別途大阪府が負担する。

・　海外旅行保険は、現地への救護費用を対象に含めたものとし、短期留学に参加する受講生全員に加入を義務付けること。

・　受講生及び保護者に対し、短期留学説明会を短期留学の２か月前及び１週間前等に２回以上実施すること。説明会では、具体的なスケジュール、プログラムの内容等が記載された「短期留学のしおり」を作成し、受講生全員に配付すること。「短期留学のしおり」の作成にあたっては、事前に大阪府と協議し、内容について承認を得ること。

・　短期留学の受託者における日本からの引率者は３名以上とすること。

※引率者を４名以上とする場合は、リーズ大学との協議が必要となる可能性がある。

・ 滞在中の現地での活動においては、十分に受講生の安全を確保できる体制をとること。

* 1. **プログラムについて**

・　実際の講義又は実際の講義に近い特別講義を中心としたプログラムを実施すること。講義時間は合計20時間以上とし、人文、社会、自然科学等、幅広い分野の講義とすること。

・　短期留学中は、受講生に対し、当日のプログラムの振り返りをさせるとともに、翌日のスケジュールやプログラム内容の説明を行うこと。

・　現地到着当初に、受講生の自己紹介を兼ね、大阪の魅力を発信するプレゼンテーションを発表する機会を設けること。

・　現地学生との交流イベントの開催など、受講生が直接現地の人とコミュニケーションを図る機会を設けることが望ましい。

・　短期留学の終盤に、一連の成果をプレゼンテーションにまとめ、大学関係者を相手に発表する機会を設けること。なお、現地でのプレゼンテーション作成等が滞りなく行えるよう、使用するパソコン等は事前に準備しておくこと。

・　短期留学中は、受講生ができるだけ英語のみで生活をするような工夫をすること。

* 1. **その他**

・　短期留学に参加できなかった受講生には、修了証書を授与しない。

・　短期留学期間中における体調不良などに起因するプログラムの不参加については、当該プログラムの内容に応じ、受託者の判断により欠席扱いとすることができる。

・　短期留学に係る旅行業法上の基本的旅行業務（※参考２「旅行業法上の基本的旅行業務（旅行業法抜粋）」参照）（運送又は宿泊についての業務）を取り扱うにあたり、受託者は、第１種旅行業の登録を行っていること、又は、登録を行っていない場合は、短期留学における基本的旅行業務を第１種旅行業登録業者に再委託すること（ただし、再委託については事業委託仕様書「11　再委託について」の内容に留意すること。）。なお、現地大学寮等での滞在は、基本的旅行業務における宿泊のサービスに当たらないため、上記再委託の手続きを省略することができる。

**（4）大阪府の取組みへの支援及び協力**

大阪府の主催により、入塾式、前期成果発表会、短期留学報告会、成果発表会及び修了証書授与式を実施する。また本事業の広報活動や海外進学後の活躍に向けた取組みを行う。その他、府政に関する講座や事業の広報イベント等を別途実施することがある。

受託者は、これらの行事等に参加し実施に協力すること。また、行事等により、受託者がオリエンテーションや受講生の成果発表等を実施すること。なお、実施にあたっては、事前に大阪府と協議し、内容について承認を得ること。

1. **入塾式（入塾オリエンテーション）**

・　受講生に対し、プログラム全体の流れや心構えなどを説明するオリエンテーションを実施すること。

なお、選考等で確認した「海外進学の目的」、「将来のキャリア」、「大阪への貢献」に受講生に再認識させること。

1. **前期成果発表会**

・　海外進学準備講座において作成した成果を、プレゼンテーション形式で発表させること（原則、英語で発表）。

・　短期留学について出発前説明会を行うこと。

1. **短期留学報告会**

・ 短期留学報告会において、短期留学の成果をプレゼンテーション形式等で発表させること（原則、英語で発表）。

1. **成果発表会及び修了証書授与式**

・　成果発表会において、受講生が本プログラムを通して学んだことを活かし、自身の将来や今後の大阪への貢献などをテーマに、プレゼンテーション形式等で発表させること（原則、英語で発表）。

・　修了証書は、受託者からの依頼に基づき、大阪府が作成・授与する。

1. **海外進学後の活躍に向けた取組み**

・ 講座や進路指導等、大阪府主催行事の機会において、受講生が海外進学後の将来のキャリア形成を意識し、具体的に考えることができるような取組みを行うこと。

・ 海外進学後の就職活動についてなど、過去の受講生を含めキャリア形成に有益な情報の提供を行うこと。

・ その他、大阪府が実施する海外進学後の活躍に向けた取組みに積極的に協力すること。

1. **事業の広報活動等**

・　ウェブサイト、SNS等を活用して活動紹介するなどの事業広報を行うこと。

・　おおさかグローバル塾の横断幕、バッジ等を作成するなど、広報とともに、受講生の帰属意識を高めるような取組みを行うこと。

・　その他、大阪府が実施する広報活動等に積極的に協力すること。

**（５）留意事項**

・　受託者は、事業開始時までに業務実施計画書を大阪府に提出すること。

・　事業実施状況については、大阪府に随時報告すること。

・ 新型コロナウイルス感染症等の影響により、実施スケジュール等に変更が生じる場合を想定し、対応を準備しておくこと。

・　受講生が50名に満たない場合は、受講生１名あたりの経費（教材費、Aptis購入費、IELTS受検料、短期留学に係る渡航費、宿泊費等の実費）及び１クラスあたりの経費を踏まえて委託費を減額する。その他、受講生数に変更等があった場合については、別途協議を行う。

**４　効果検証・評価**

* + 1. **アンケート調査の実施**

次の時点において、本事業の良かった点、改善すべき点等を問うアンケート調査を実施し、結果を取りまとめること。なお、アンケートの内容は大阪府が別途提示する。

・　海外進学準備講座の開始前又は開始後すぐ

・　海外進学準備講座の終了時

・　短期留学最終日

・　海外大学受験講座の終了時

* + 1. **事業効果の検証**
1. **本事業の目標**

・　プログラム修了後、海外進学を実現させる者：修了生のうち半数以上

・　海外進学に必要な英語力の修得：受講生が受検するIELTSについて、スコア5.5以上を達成した者の割合90％以上

1. **効果検証**

海外進学準備講座の開始前及び短期留学後に実施するAptisの結果と、12月後半～翌年１月に実施するIELTSの結果を活用してきめ細やかな個別指導を行うとともに、これらを比較し、事業効果の検証及び評価を行うこと。

**５　2020年度修了生の受講について**

2020年度事業において新型コロナウイルスによる影響で短期留学が見送られるなどしたことを踏まえ、2020年度修了生の受講を認めるものとする。なお、実施にあたっては、本仕様書別紙内の「１　受講生選考」から「４　効果検証・評価」と原則同様とするが、以下については、特別な扱いとする。

**（１）プログラムの受講期間**

「３　プログラムの実施」に記載の9月以降に実施予定のプログラム（海外大学受験講座、IELTSの受検、その他府行事等）については、当該受講生の選択により受講するものとする。

**（２）効果検証・評価**

9月以降に実施予定のプログラムに参加しない受講生のアンケート調査については、次の時点までとするとともに、事業効果の検証の対象とはしないものとする。

・　海外進学準備講座の開始前又は開始後すぐ

・　海外進学準備講座の終了時

・　短期留学最終日

* + 1. **留意事項**

9月以降に実施予定のプログラムに参加しない受講生がいた場合は、「３　プログラムの実施（５）留意事項」の考え方に準じ、当該受講生の受講しないプログラムに係る経費を委託費から減額する。

　（参考１）

**2021年度　おおさかグローバル塾受講生募集要項概要**

**１　受講生募集方針（アドミッションポリシー）**

＜求める人物像＞

目的意識・関心

・ 高校等卒業後の進路として、海外の大学での学位取得をめざしている者

・ 世界に目を向け、様々な分野において活躍しようとする高い志を有する者

資質

・ 何事にも積極的に取り組めるチャレンジ精神の旺盛な者

・ 最後までやり遂げようと努力することができる者

・ 周りとコミュニケーションをとりながら協力して行動できる者

・ 将来グローバル人材として大阪に貢献しようとする意志を有する者

英語力

・ 「２　対象者」に記載の英語力を有するとともに、海外進学に対応するため、日々英語力の強化に取り組むことができる者

**２　対象者（次のすべてを満たす者）**

・　大阪府内に住所を有する者で、受講生募集期間末日現在、高等学校、特別支援学校高等部、専修学校高等課程、中等教育学校又は高等専門学校（本科）（以下「高校等」という。）に在学中の生徒で以下の学年に属する者

1. 高等学校、特別支援学校高等部、専修学校高等課程・・・２年又は３年
2. 中等教育学校・・・５年又は６年
3. 高等専門学校・・・４年又は５年

・ 在学する高校等の学校長が推薦する者

・ 学位取得のための海外進学をめざしている者

・ TOEFL iBT45、TOEFL ITP（PBT）450、TOEFL Junior Standard 725、TOEFL Junior Comprehensive 315、IELTS4.0、英検２級、国連英検B級又はTOEIC（IPを含む）520、GTEC（４技能）920のいずれか以上のスコアを有する者

**３　募集概要**

・ 募集時期　　　令和３年２月18日（木曜日）から４月15日（木曜日）まで

・ 募集定員　　　50名

・ 出願資格　　　上記２のとおり

・ 個人負担金 １名あたり190,000円

（なお、講座受講場所等までの交通費、短期留学に必要となるパスポート等取得費用、渡航に必要となる検査料、海外旅行保険料、自由行動やフィールドワーク時の昼食代等の費用等は別途受講生の個人負担とし、個人負担金は、原則納付後の返還には応じないものとする。）

・ 出願書類

1. 【様式１】入塾願書（※）
2. 【様式２】志望理由書（※）

・志望理由（海外進学を志した理由含む）

・海外進学の計画と、進学後の将来像について

・大阪への貢献について

・自己アピール

1. 【様式３】在学する高校等の学校長の推薦書（※）
2. 【様式４】誓約書
3. TOEFL iBT、TOEFL ITP（PBT）、TOEFL Junior Standard、TOEFL Junior Comprehensive　、IELTS、英検、国連英検、TOEIC（IPを含む）又はGTEC（４技能）のうち、保有するすべてのスコアについて提出。ただし、各資格で最もスコアの高いものを提出すること。例えば、英検準１級と２級を持っている場合は準１級のみでよい。）

※2020年度おおさかグローバル塾を修了し、出願資格を満たす者は出願が可能です。

また、短期留学後の海外大学受験講座等のプログラムについては、受講を選択することが可能です。

※様式は別に定める。

（参考２）

旅行業法上の基本的旅行業務（旅行業法抜粋）

（定義）

　　第２条　この法律で「旅行業」とは、報酬を得て、次に掲げる行為を行う事業（専ら運送サービスを提供する者のため、旅行者に対する運送サービスの提供について、代理して契約を締結する行為を行うものを除く。）をいう。

（１）旅行の目的地及び日程、旅行者が提供を受けることができる運送又は宿泊のサービス（以下「運送等サービス」という。）の内容並びに旅行者が支払うべき対価に関する事項を定めた旅行に関する計画を、旅行者の募集のためにあらかじめ、又は旅行者からの依頼により作成するとともに、当該計画に定める運送等サービスを旅行者に確実に提供するために必要と見込まれる運送等サービスの提供に係る契約を、自己の計算において、運送等サービスを提供する者との間で締結する行為

（３）旅行者のため、運送等サービスの提供を受けることについて、代理して契約を締結し、媒介をし、又は取次ぎをする行為

（４）運送等サービスを提供する者のため、旅行者に対する運送等サービスの提供について、代理して契約を締結し、又は媒介をする行為

（５）他人の経営する運送機関又は宿泊施設を利用して、旅行者に対して運送等サービスを提供する行為

（登録）

第３条　旅行業又は旅行業者代理業を営もうとする者は、観光庁長官の行う登録を受けなければならない。